

第 4 9 回 県 選 手 権 大 会 競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則と大会要項によって運営する。スタートについては、競技規定 TR16により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
2. トラック競技の予選で、決勝に進出する資格を得る競技者は着順またはタイムによって決定する。同タイムによって決勝進出競技者が、規定人数を越える場合は抽選で決定する。(タイムは1/1000秒差までの着差を確認する)
また、長距離種目は着順どりとし、男女とも800mは12名、1500mは15名、共通男子3000mは18名が決勝に進出する資格を得るものとする。
3. 本競技場は全天候型なので、競技に使用するスパイクピンは全天候型のものとし、9mm以下のものを使用すること。(走高跳は12mm以下とする。)
4. ハードルの高さおよびインターバル、砲丸の重さは次のとおりとする。

男子110mH	高さ	91.4cm	インターバル	9.14m
女子100mH	高さ	76.2cm	インターバル	8.00m
男子砲丸投(5.0kg)			男子四種競技砲丸投(4.0kg)	
女子砲丸投(2.721kg)			女子四種競技砲丸投(2.721kg)	
5. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。走幅跳は、上位12名が決勝に進出する。
共通男子走高跳 1m45-50-55-60-65-70-73…以後3cmずつ(練習は1m45と55)
共通男子四種競技 1m25-30-35-40-45-50-55-58…以後3cmずつ(練習は1m25と35)
共通女子走高跳 1m25-30-35-40-45-48…以後3cmずつ(練習は1m25・35)
共通女子四種競技 1m15-20-25-30-35-38…以後3cmずつ(練習は1m15と25)
共通男子棒高跳 2m40-60-80-3m00-20-40…以後10cmずつ
6. 四種競技の砲丸投の試技は3回までとする。
7. 競技者は、学校名のアスリートビブスを胸背部に正しく着けること。(走高跳・走幅跳・棒高跳の選手は、胸部・背部のいずれか一方に着ければよい。)アスリートビブスのない競技者は出場できない。
トラック競技の腰ナンバー標識は、招集所で受け取りパンツの右側やや後方に着ける。競技終了後はゴール地点で役員に返却すること。
共通男子3000m(胸背部)、男女1500mでは(胸部)別に配布する数字のアスリートビブスを使用する。競技終了後は、ゴール地点で役員に返却すること。
8. 競技のレーン順・試技順は、プログラムに記載されている順とする。決勝のレーン順は、番組編成の際本部で行う。
9. 招集について
 - ② 招集は、招集所で行う。(招集所は100mスタート側後方ゲートの外に設置する)
 - ② 招集時刻は、プログラムに記載されている通りとする。また、記載されているのはすべて招集完了時刻である。
 - ③ フィールド競技においては、走高跳・砲丸投は、30分前、走幅跳は40分前、棒高跳は50分前を招集完了時刻とする。ただし、走幅跳決勝は、招集完了時刻を30分前とする。
 - ③ 選手は招集完了時刻10分前までに招集所に集合すること。10分前より点呼を開始する。リレーのオーダー用紙提出は予選・決勝ともに、招集完了時刻1時間前までに競技者係に提出する。提出が遅れた場合は失格となる。なお、エントリーした6名以外の選手が走る場合にも、プログラムを参照の上、該当選手が記載されている種目のページなど必要事項を記入し競技者係に提出する。
オーダー用紙は招集所に用意する。
 - ⑤ 代理人による招集の確認は原則として認めない。ただし、2種目を同時に出場する競技者はあらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集開始時刻までに、所定の用紙(同時二種目出場届)に記入し競技者係に提出すること。なお、用紙は招集所に用意する。

- ⑥ 招集を受けていない競技者は棄権とみなして処理する。招集時刻に遅れた競技者は出場できない。また、招集所には、点呼を受ける競技者以外入らないこと。
- ⑦ 四種競技出場者も同様に行う。なお四種競技の場合、フィールド種目は競技開始30分前、トラック競技は競技開始20分前には完了すること。
- ⑧ 競技を棄権する場合、棄権届け（陸協指定の用紙）を競技者係に提出すること。用紙は招集所および本部に用意する。

10 競技用シューズの扱いについて

- ① 今大会における競技用シューズに関する規定は右図のように扱う。

区分	種 目	厚さ
T	800m未満（ハードル）	20mm以内
T	800m以上	25mm以内
F	跳躍・投てき	20mm以内

- ② ただし、今大会においては、投てき競技のみ、競技用シューズの扱いをTR5.5規定の適用除外措置とする。（投てきの競技者については、20mm以上の厚さの靴も可となります。）

- 11. 規定外の商標を競技場内に持ち込むことはできない。違反している場合は「商標隠テープ」を貼り処置する。
- 12. トラック競技のゴール後は、競技役員の指示に従い退場すること。その際正面スタンド下通路は通らないこと。また、スタンドから降りての応援・観戦はしないこと。
- 13. 記録の発表は、正面玄関横の掲示板にて掲示・発表する。
- 14. 表彰は、各種目の8位まで（リレーも8位まで）の入賞者に表彰状を授与するので、競技終了後すみやかに正面ロビーに集合すること。（表彰や競技の進行から、代理を立てて表彰を行うこともありうる。）
- 15. 本大会は、第49回全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録突破指定大会とする。
- 16. 本大会は、第56回中国中学校陸上競技選手権大会の選手選考会とする。男女各種目とも上位3位までの者が第56回中国中学校陸上競技選手権大会広島県代表となる。男女のリレーについては本大会での優勝校のみが男女の広島県代表として第55回中国中学校選手権に出場する。

第49回広島県中学校陸上競技選手権大会 連絡事項

1 学校受付及び役員受付

- (1) 学校受付は、7:30~とし、引率者は必ず学校受付をしてプログラムを受け取ること。
また、学校受付終了後に、競技役員の手付けを済ませること。
学校受付及び役員受付は、メインスタジアム正面玄関ロビーで行います。

※入場のためのリストバンド渡しは、7:00から競技場正面玄関ロビーで行います。

- (2) 大会当日、各参加校の引率者・選手・大会役員・競技役員は、「体調管理チェックシート（提出用）」を受付にて1日目は提示し、持ち帰り2日目は提出すること。一日のみの場合は、その日に提出すること。「体調管理チェックシート（提出用）」と引き換えに、リストバンドをお渡しします。

※リストバンドは、手首に付けてください。選手等は、競技に支障がでるようであれば、競技役員に見えるところに着用してください。

※リストバンドがない方は、競技場内・補助競技場内には入場できません。

※「体調管理チェックシート（大会後用）」は、引率者・選手・大会役員・競技役員が記入し、各自、大会終了後1ヶ月間は保管となります。

万が一、大会参加関係者から、新型コロナウイルスの罹患者が発生した場合には、保健所に提出をしますので、必ず保管をしておくようお願い致します。

- (3) **役員の打ち合わせ会を8:25より競技運営室において行うので、競技役員は時間厳守で集合すること。**
- (4) 開会式、閉会式は、今大会は行いません。（各種目の表彰は決勝終了後に準備でき次第行いますのでアナウンスなどをよく聞いておいてください。）

2 競技役員について

- (1) 競技役員については、別紙競技役員一覧表により運営しますが、欠席等により役員が不足するようなことがあれば引率の先生に競技役員をお願いすることもありますので、服装等については必ず留意しておいてください。
- (2) 競技役員は必ず役員受付を済ませること。なお、競技役員の服装は、男性は白の半袖カッターシャツかポロシャツにグレーのスポン、女性は白のブラウスカポロシャツにグレーか紺の服装をお願いします。ジャージは必ず避けること。
- (3) 競技役員は、その任務中は、任務に徹し、**選手に対する助言、助力を行わないようにして、公正中立な立場で審判業務にあたること。**

3 来場者について

- (1) 今大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みを全ての来場者の方々にお願いをする中で、**スタンドでの競技観戦は選手1名につき保護者と同伴者を含めて2名までの観戦を認める形で観戦を可能とします。**

ただし、保護者の皆様方などの観戦については、以下の要領でお願いしたいと思います。

- ① 事前に「体調管理チェックシート（提出用）」をご記入いただき、受付ロビーにてご提出いただき、その場での検温にご協力いただき、検温が済んだ方には「リストバンド」をお渡ししますので、それを付けられてスタンドに入場願います。このリストバンドがないと、スタンドへの出入りができません。
 - ② 保護者など一般の来場者の方々の受付（「体調管理チェックシート（提出用）」・リストバンド渡し・検温）は、8:45より正面受付ロビーで行います。（2日間とも）
 - ③ 「体調管理チェックシート」は、「体調管理チェックシート（提出用）」を受付にて提示し、2日目は提出すること。一日のみの場合は、その日に提出すること。
- (2) 卒業アルバムなどの写真撮影業者も8:45以降に受付で「来場者体調記録表の記入」をお願いし、検温とリストバンドの配布を行うことで入場を可能とします。**※用紙は、受付に準備しています。**
 - (3) 参加選手は、できれば自分の出場種目のウォーミングアップ開始時間に合わせて来場し、競技が終了し、表彰などがある場合は、それを済ませてから速やかにクーリングダウンを行い帰宅することが望ましいものとする。

4 スタンドへの開場について（競技場の開門は両日とも7:00）

正面玄関ロビーにて「体調チェックシート」を受付に提出し、検温し、リストバンドを付けた人からスタンドに入ることができます。混雑・事故を防ぐ意味でスタンド入口階段に並ばないようにお願いします。

- (1) 選手等の控え場所として、場所を取ることができるのは、次の場所である。ただし、スタンドも日陰の場所やスタンド裏も場所がせまいので、できるだけ各学校（チーム）とも必要最小限のスペースで場所を確保するようにしてください。（お互いに気持ちよく少しでも多くの学校が待機できるようにお願いします。）
- (2) 場所取りをして良い場所（※1日ごとにシートなどは撤去してください。）

- ① 正面スタンド中段通路よりも上側のスタンド席
- ② 正面スタンド裏側のコンコース（イスなどは帰る際にもとにもどしてください。）
- ③ バックスタンド裏の通路沿い

(3) 場所取り（テント設営）ができない場所

- ① バックスタンド、サイドスタンド
- ② 補助競技場内
- ③ その他、広域公園内の芝生や植え込みなどの部分

(4) メインスタンドでの観戦について

- ① **保護者（同伴者）の観戦が可能なのは、正面スタンド、バックスタンドの最前列付近（棒高跳）のみです。サイドスタンドは、バックスタンドへ向かう通路としては利用しますが、保護者の観戦はできません。**
- ② **盗撮等防止の撮影禁止区域（100mスタート後方部分や走高跳側再度スタンドなど）、その他応援禁止区域**
での観戦はできませんのでご了承願います。
- ③ **正面スタンドの出入口は、それぞれ入口と出口が規制してありますので、ご注意願います。**

5 駐車場について

- (1) 砂利の駐車場は、基本的には競技役員優先とします。
- (2) バスやマクロバスで送迎される学校（チーム）は、アスファルトの駐車場にて待機していただくようお願いいたします。（当日の駐車場の混乱を防ぐために）
- (3) 大会当日、競技場内における選手保護者の送迎についても、事前に混雑が予想されることをお伝えいただき、保護者の選手の送迎は、砂利の駐車場の下のアスファルトの駐車場にてお願いいたします。

6 練習会場の使用について

- (1) 練習会場は、補助競技場を使用すること。なお、16日（土）の9：00までと17日（日）の8：45までは、メインスタジアム内での練習も可能です。ただし、競技会場・各ピットの準備ができた後からの練習としますので、練習可能となりましたら放送で伝えます。

<メインスタジアムの朝の競技開始前の練習区分>

- 1～2レーン → 中長距離優先レーン
 - 3～6レーン → 短距離・リレー優先レーン（リレーは、第2・第3コーナーで練習願います）
 - 7～8レーン → ハードル優先レーン（110mH：8レーン、100mH：7レーン）
- ※棒高跳以外のフィールド種目は、メイン競技場内では練習できません。

<補助競技場の練習区分> **※投てき練習はできません。**

○補助競技場は、直線8レーン、周回6レーンしかありませんので、選手は接触や衝突などの事故やけがに十分に注意して、1～2レーンでは中長距離の周回優先とし、3～6レーンを短距離やリレーなど高速で周回を行う場合に使うようにお願いします。（逆走をしないこと）

○ホームストレートの直線には、7・8レーンに男女のハードル、4～6レーンにスタプロを時間帯により設置しています。

○トラック内の芝生部分は使用できません。

（メデイシンボールやゴム製などの練習用砲丸も含め、投てき練習は補助競技場内ではできない。）

○補助競技場では、スターティングブロックおよびハードルを主催者で準備する。これらの練習用具は、学校からの持ち込みをしないこと。

(2) メインスタンド下の雨天練習場は、今回使用できません。

7 競技会場の使用について

- (1) 競技者は、それぞれ当日、招集所で指示を受けた経路に沿って、スタート地点や競技ピットに向かい、競技終了後も指示された経路、ゲートより退場すること。尚、正面スタンド前には通らないこと。
- (2) 競技者は、招集所で招集とともに手のアルコール消毒を受け、待機している時なども、できるだけマスクを着用すること。
- (3) 短距離種目については、ゴール後はコースに沿ってカーブするよう事前に指導をお願いします。（選手同士の接触事故防止のため）

8 商標について（**大まかに言うと名刺サイズ以上の大きさの商標は隠すことになります。**）

- (1) 競技場内には以下の規定を満たしていない商標名の付いた衣類・バッグは持ち込みできない。特にバッグについては注意すること。（他のカバン、袋を準備するのが望ましい。）どうしても持ち込まなければならない場合や競技場内で発覚した場合は「商標隠テープ」を貼り処置をする。その処置によって持ち物が破損した場合、主催者は責任を負わない。
 - ① 上半身の衣類…製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積30cm²以内、文字は縦4cm以内、ロゴ全体で縦5cm以内とする。ただし、トレーニングウェア上衣、Tシャツ、トレーナー、レインジャケットの製造会社名／ロゴ面積は40cm²以内とする。
 - ② 下半身の衣類…製造会社のロゴ：大きさは四角形の面積20cm²以内の長方形、文字は縦4cm以内のもの1ヶ所とする。
 - ③ バッグ…製造会社のロゴは、2ヶ所に取り付けることができる。それぞれの面積は25cm²以内のものとする。※具体的な例は、別紙の「競技場内における広告・展示物等の規則について」の資料をご覧ください。

(2) 競技役員に指摘された場合は、その指示に従うこと。

6 その他

- (1) カメラ・ビデオでの撮影については、「撮影許可証」などの受付はありませんが、盗撮防止についての取り組みとして、撮影禁止エリアの設置や表示、スタンドの見回り、アナウンス等を行う予定です。生徒を通じて保護者へ周知をお願いします。
- (2) 保護者などが撮影された競技中の写真・映像などを、ネットの動画投稿サイトなどに掲載されることのないように周知徹底をお願いします。